

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
小浜市	中名田地区 〔 小屋、上田、下田、和多田、深野 〕	平成26年3月	令和5年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	100	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	71	ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	62	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	28	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	9	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	52	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

(1) 現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、小浜市南西部に位置し地区を東西に流れる二級河川田村川沿いに農地が形成され背後を山に囲まれた中山間地域である。 ・農業は兼業農家による水稲経営が中心であり、担い手への農地の集積・集約化が進んでいない。また、農地は小区画の水田が大宗を占めており、耕作条件が悪く、耕作放棄地も市内の他地域に比べて高い比率で発生している。 ・市街地への人の流出、農業従事者の高齢化や後継者不足、農業機械の更新を契機とした農業離れにより、担い手不足が深刻な状況となっている。 ・野生鳥獣による農作物被害が多く、その対策に相当の労力を奪われるとともに、獣害により耕作者のやる気が削がれ離農の原因となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月に設立された（同）田村の里ファームを地域の中心経営体として位置づけ、地域の農地を集積していく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

(1) 農地の利用調整と農地等の地域資源管理の最適化
多面的機能支払交付金の活動組織や（一社）中名田について活動組織の体制や活動内容等に検討を加え、地域ぐるみで農地の利用調整や農地の保全等に取り組む体制を構築し、中心経営体と地域住民の連携による持続的な農業の発展に取り組む。
(2) 農地中間管理事業の活用
（同）田村の里ファームの計画的な規模拡大に繋がるよう、関係機関が連携して農地の集積・集約化に取り組む。また、農地の集積に合わせて耕作条件を改善するため、土地改良事業について令和5年度に県一件審査を行い、令和8年度の事業着手を目指す。
(3) 鳥獣被害防止対策の取り組み
山際への侵入防止柵の設置や適切な管理、獣害対策に係る研修会への参加及び誘因物の除去等により、野生鳥獣による被害を未然に防止する取り組みを進める。